

レポートの対象インスタンスがLinuxの場合の仕様は以下となります。  
Windowsと異なり、以下の帳票は対象外となります。

- 108\_プロセス詳細情報
- 109\_ディスクオータ情報
- 110\_アプリケーションログ情報 ※Linuxでは、テキストログを対象したLinuxテキストログ情報で代替します。
- 111\_システムログ情報
- 112\_セキュリティログ情報
- 113\_セキュリティログ詳細

下記の表で、「帳票名」に(Linux専用)と記載のないものはWindowsと共用のデザインとなりますので差異、概要も同じ内容となります。  
501\_サーバー診断レポート以外の各帳票のヘッダーに出力される対象インスタンスは監視先インスタンス名になります。

#### ■ 注意・制限事項 ■

- ReportオプションでMHTMLに出力し印字した場合、ページが繰り上がる場合がある  
MHTMLファイルに出力しブラウザで印刷した場合、部分的にページが繰り上がる場合があります。
- Reportオプションで出力対象のデータ期間が短い場合、レポート上の棒グラフが太く出力される場合がある  
出力対象のデータ期間が極端に短い場合、各レポートの棒グラフが通常より太く出力される場合があります。これは製品特性上の仕様です。
- Reportオプションで出力対象のデータ期間が長い場合、レポート上の日付が省略されて出力される場合がある。  
出力対象のデータが長い場合、各レポート上のX軸に出力される日付が省略されて出力される場合があります。これは製品特性上の仕様です。  
例  
12/1 → 12...
- mhtおよびEXCEL形式で出力した場合、文字フォントの大きさの違いにより記載される領域を超えて文字が切れることがあります。
- EXCEL形式で出力した場合、数値の書式が印刷やPDFと異なりEXCELで設定された書式(とくに数値の、や少数以下の桁数など)になります。
- BOM7レポートデータベース設定ウィザードの出力設定画面において、異なるコンピューター名で同じインスタンス名がアーカイブされていた場合  
プルダウンリストでは同じ名称が表示されますので、それぞれの出力テーブル名、監視種別や監視値などを確認して下さい。
- 以下の帳票で制限があります。  
505\_ハードウェア情報 Red Hat Enterprise Linux 7.1以降で、空白で出力されます。(Linux6.xは、"haldaemon"を起動することで出力可能になります)  
506\_ソフトウェア情報 Red Hat Enterprise Linux 7.1以降で、各ソフトウェアのバージョンが空欄で出力されます。

帳票名	差異	概要
501_サーバー診断レポート (Linux専用)	(変更)  (追加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CPU負荷状況の変更 BOM6:LoadAverage → BOM7:(100-IdleTime%)</li> <li>・ネットワーク診断結果の変更 (名称)BOM6:IN/OUT → BOM7:受信量/送信量</li> <li>・診断項目とレーダーチャートからハードディスクアクセス状況は回数/秒となり他の%で示す項目と異なるので除外 ※ドライブ名が長くなり識別を容易にするため略称HDD1~を示し、レーダーチャートで表示</li> <li>・ネットワーク診断結果の表に、平均値/最大値を出力(診断は最大値のみが対象) ※診断は、1Gの帯域を基準にしています。</li> </ul>
502_過去比較情報 (Linux専用)	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー診断:CPU負荷状況、メモリ系(メモリ使用状況&amp;スワップ使用状況)、ハードディスクアクセス状況と各ドライブ使用率の4タイプで各平均値と最大値の8グラフ出力</li> <li>・N/W診断:受信量、送信量、IN損失、OUT損失の4タイプで各平均値と最大値の8グラフ出力</li> <li>・前々回、前回、今回の3回分に相当する過去に監視したデータがない場合、右づめで出力 前々回のデータがない場合、右欄から前回、今回と出力します。(前々回が空白で前回、今回にはなりません) ※表に出力される各値は下2桁、各グラフ(%以外)のY軸は下4桁まで出力します。</li> </ul>
503_詳細グラフ情報(横)	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大値の日時をグラフ上に「★」で出力</li> <li>・統計情報内の注意しきい値、危険しきい値の色をグラフ内の線と同色(注意:黄色、危険:赤)で出力</li> <li>・BOM7の長期間に合わせ、横軸の期間を1週間単位で出力 ※期間が1週間以内の場合、期日が出力されない場合があります。タイトルにある「期間」で期日を確認してください。</li> <li>・グラフの注意しきい値、危険しきい値の線は、その監視項目の値が存在する期間で、設定された値で出力 ※BOM6は、監視項目の値がない期間もグラフ横軸の最大期間で、初回の固定値で出力 ※Y軸の目盛値により、グラフの描画域がX軸方向に拡大/縮小と変化します。 この変化によりグラフ域に縦縞(棒グラフにおける隙間)が発生することがあります。</li> </ul>
503_詳細グラフ情報(縦)	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大値の日時をグラフ上に「★」で出力</li> <li>・統計情報内の注意しきい値、危険しきい値の色をグラフ内の線と同色(注意:黄色、危険:赤)で出力</li> <li>・BOM7の長期間に合わせ、横軸の期間を1週間単位で出力 ※期間が1週間以内の場合、期日が出力されない場合があります。タイトルにある「期間」で期日を確認してください。</li> <li>・統計情報とグラフの視認性をはかり、統計情報をグラフ上に配置 ※BOM6では6グラフ/ページでしたが、このデザインによりBOM7では3グラフ/ページになります。 ※Y軸の目盛値により、グラフの描画域がX軸方向に拡大/縮小と変化します。 この変化によりグラフ域に縦縞(棒グラフにおける隙間)が発生することがあります。</li> </ul>
504_システム基本情報 (Linux専用)	(追加) (新規)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理メモリ量、仮想メモリ量にGB単位を追記</li> <li>・ハードディスク容量(ドライブ名とその容量GB)を別表として出力</li> </ul>
505_ハードウェア情報	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDFおよびEXCEL出力を同じデザインに統一 ※BOM6では、追加/削除を出力するカラム欄のデザインが出力形式で異なっています。</li> <li>・2ページ以降、ヘッダーを繰返さない</li> </ul>
506_ソフトウェア情報	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDFおよびEXCEL出力を同じデザインに統一 ※BOM6では、追加/削除を出力するカラム欄のデザインが出力形式で異なっています。</li> <li>・2ページ以降、ヘッダーを繰返さない</li> </ul>

507_ハードウェア・ソフトウェア差分情報	(削除)	・ユーザーと状態にある日付
510_Linuxテキストログ情報 (Linux専用)	(変更)	・上段の横積上げグラフを表形式に変更し、「情報」として総数を出力
514_全インスタンス概要(横)	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目にPingを追加(Windowsのインスタンスのみ有効です。Linuxは対象外となります。)</li> <li>・凡例のコメントを追加(凡例をすべて記号化)</li> <li>※BOM6のハードウェア/ソフトウェアの「追加あり」、「削除あり」を「+」、「-」に変更</li> <li>※レポートウィザードで指定したインスタンスだけでなく、それを選択する際に出力されたすべてのインスタンスが出力対象となります。</li> <li>※インスタンスを複数指定すると、指定したインスタンスの数が部数となり同じ帳票が出力されます。</li> </ul>
514_全インスタンス概要(縦)	(変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目にPingを追加(Windowsのインスタンスのみ有効です。Linuxは対象外となります。)</li> <li>・凡例のコメントを追加(凡例をすべて記号化)</li> <li>※BOM6のハードウェア/ソフトウェアの「追加あり」、「削除あり」を「+」、「-」に変更</li> <li>※レポートウィザードで指定したインスタンスだけでなく、それを選択する際に出力されたすべてのインスタンスが出力対象となります。</li> <li>※インスタンスを複数指定すると、指定したインスタンスの数が部数となり同じ帳票が出力されます。</li> <li>※(横)のレイアウトと異なり、OS名とバージョンを「OS情報」として出力します。</li> </ul>